

介護ウエーブのつどい 介護保険見直しを考える

11月6日(日) 沖縄産業支援センターで「介護ウエーブのつどい2022」が開催されました。介護保険見直しを考える「2024改定で利用者・事業者はどうなるのか」をテーマに、大阪社会保障協議会介護保険対策委員長の日下部雅喜先生の講演が行われました。

利用者・事業者はどうなるのか

3年ごとの介護保険制度改正のたびに、利用者の負担は増え、介護報酬は減り厳しい状況が続いています。

さらに今回の改正では、利用者負担の引上げ、ケアマネジメントに利用者負担導入、要介護1・2の総合事業移行、杖・歩行器等の福祉用具をレンタルから購入へ、ICT・ロボット等の活用で、人員配置の切り下げが検討されています。

日下部先生は「これまで

でにない改悪の内容」となっており、ケアマネジメントが有料化になると、介護サービス利用にたどりつけない方が増え、利用抑制に拍車をかける。ケアマネジャーの利用者支援に悪影響を及ぼすと指摘しています。

介護事業所とも 危機感を共有

民医連以外の、県内の居宅介護支援事業所や介護事業所の方々の参加もあり、2024年改定に危機感を持っています。

大盛況！WHO健康ウォーク

全県から154名が参加

11月20日(日)に海洋博公園内にてWHO健康ウォーキングが開催され160人程が参加されました。

大型バスも準備して、沖縄市、うるま市の組合員さんも多く参加されました。今年は3.3km、5kmの2コースに分かれ

て実施し、子どもやペットの犬も一緒に、園内の植物を観察したり、写真を撮ったり、ゆんたくしながら、楽しくウォーキングできました。

今回が20回目の開催となりましたが、これからも継続して企画していきますので、今回参加で



参加者の集合写真。

きなかった方も来年の参加をお待ちしております。
健康づくり委員会
理学療法士
大湾翔太

介護保険制度の

改善を求める署名を

厚生労働省や、社会保障審議会介護保険部会等に対し、介護保険制度の改善を求める署名活動等を行い、私たちの思いを届けていきたいと思えます。

中部協同病院

居宅介護支援事業所

長野 杏奈

デイサービス 美里第2へ!

利用者募集中です

中部協同病院 一通所リハビリテーション「デイサービス美里第2」にかかりました。これまで通り、中部協同病院と連携しながら運営していきます。理学療法士も在籍していますので、リハビリも継続しておこないます。

現在、利用者も募集していますので、担当ケアマネジャーにご相談の上、お問い合わせください

【問い合わせ先】

〇九八一九三四一〇一八



10月から

75歳以上 医療費 2倍

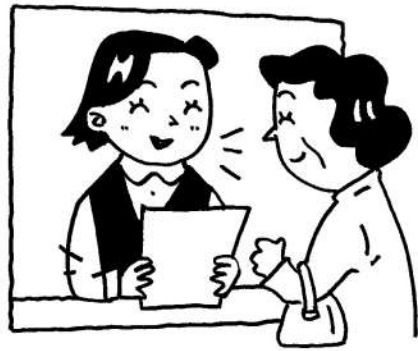
**誰もが必要な医療を
受ける権利がある**

本来、医療を受ける権利は、憲法25条で保障された人権（受療権）です。しかし、窓口での医療費一部負担が受療権を侵害している実態があります。

それは全日本民医連が取り組んでいる「経済的事由による手遅れ死亡事例調査」でも明らかにされています。

高齢者に残酷な 制度の改悪

令和4年10月から変更された制度改定の内容は、今まで医療費窓口負担1割であっ



た後期高齢者の一部を世帯所得の金額に応じて2割に引き上げるというものです。政府の言い分としては、団塊の世代が高齢となり始め、医療費の増大が見込まれており、現役世代の保険料負担を抑えるためと説明していますが、少子高齢化の現代で公費負担は増やさず、互助努力で乗り切ろうという話は明らかに無理があるように思えます。

窓口2割負担 の撤回を

我々民医連は75歳以上窓口負担2割化による実害の告発に取り組みながら、撤回させる運動も展開していきまますので署名等可能な限りの支援をお願いします。

中協平和社保委員会

社保担当事務局長

喜納 亮

年末・年始の診療体制

一般診療時間	内科	外科	歯科	健診
2022年12月29日(木) 9:00~12:00	○	×	○	○

※年末の一般診療は12月29日午前中までです。

※12月29日(木)~翌年1月3日(火)まで一般診療は休診となり、救急内科体制となります。

※通常一般診療体制は1月4日(水)からとなります。

救急診療時間	救急内科	外科	歯科	健診
2022年12月29日(木) 12:00~21:00	○	/	/	/
12月30日(金) 9:00~21:00	○			
12月31日(土) 9:00~21:00	○			
2023年1月1日(日) 9:00~21:00	○			
1月2日(月) 9:00~21:00	○			
1月3日(火) 9:00~21:00	○			

政府主張のウソを暴く

現役世代と負担を公平にするウソ
75歳以上の人のほうが現役世代よりも負担率は高く、2割負担になれば不公平が拡大します。

現役世代の負担を軽減するウソ
若い世代の負担軽減額は月額わずか300円程度で、政府の「負担軽減」は詭弁です。

医療費改悪に無関係の人はいない

誰しも年を重ねて後期高齢者になります。未来の自分自身の問題です。